

# 日本作物学会第 257 回講演会プログラム

会 期：2024 年 3 月 28 日（木）～ 3 月 29 日（金）

会 場：三重大学生物資源学部（上浜キャンパス）

〒 514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

事務局：〒 514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学生物資源学部に

日本作物学会第 257 回講演会運営委員会

## プログラム一覧

月日	時刻	第 1 会場 (206 講義室)	第 2 会場 (211 講義室)	第 3 会場 (217 講義室)	第 4 会場 (220 講義室)
3 月 28 日 (木)	8:30	試写・事務連絡			
	9:00	栽培／光合成 1～11	発芽・発育／ 環境ストレス 31～41	品質 61～71	品質／環境ストレス 91～101
	12:12	休憩			
	13:30	総会・授賞式 (218 大講義室)			
	15:00	休憩			
	15:30	ポスターセッション (奇数番号) (環境・情報科学館 1F)			
	16:15	ポスターセッション (偶数番号) (環境・情報科学館 1F)			
	17:00				
	17:30	懇親会 (共創プラザ 1F)			
	19:30				
月日	時刻	第 1 会場 (206 講義室)	第 2 会場 (211 講義室)	第 3 会場 (217 講義室)	第 4 会場 (220 講義室)
3 月 29 日 (金)	8:30	試写・事務連絡			
	9:00	光合成／栽培 12～22	その他／リモートセン シング・モデリング 42～52	栽培／環境ストレス 72～82	ミニシンポジウム 1
	10:00				
	12:00				
	12:12	休憩			
	13:00	遺伝子・ゲノム解析 23～30	環境ストレス 53～60	栽培／環境ストレス 83～90	形態／リモートセンシ ング・モデリング 102～110
	15:39				
15:45	ミニシンポジウム 2	ミニシンポジウム 3	小集会 1		
17:30					

前の講演の終了後、約 3 分間の準備時間を取りますので、その間にプロジェクタとコンピュータの接続を行ってください。

## 1. 受付

生物資源学部校舎 125 講義室 (1 階)

## 2. 一般講演

日 時：3 月 28 日 (木) 9：00～12：12

3 月 29 日 (金) 9：00～12：12, 13：00～15：39

第 1 会場：生物資源学部校舎 206 講義室 (2 階)

第 2 会場：生物資源学部校舎 211 講義室 (2 階)

第 3 会場：生物資源学部校舎 217 講義室 (2 階)

第 4 会場：生物資源学部校舎 220 講義室 (2 階)

講演時間：講演 12 分，質疑応答 3 分

- 1) 一般講演は「コンピュータ」による発表のみです。プロジェクタに接続して使用するコンピュータは、発表者ご自身でご用意ください。
- 2) プロジェクタとコンピュータの接続端子は VGA (ミニ D-sub 15pin) のみで接続します。運営委員会側にコネクタの用意はありませんので、ご自身のコンピュータにコネクタが必要な場合は各自で持参してください。
- 3) コンピュータの操作は発表者自身で行うか、他の参加者に依頼してください。
- 4) 発表者は、ご自身の発表の 2 講演前には演台近くに着席してください。
- 5) 前の講演の終了後、約 3 分間の準備時間を取りますので、その間にプロジェクタとコンピュータの接続を行ってください。

試写室：生物資源学部校舎 216 講義室 (各会場および 3 月 27 日の試写室の準備はありません。)

## 3. ポスターセッション

日 時：3 月 28 日 (木) 15：30～16：15 (奇数番号のポスター)

16：15～17：00 (偶数番号のポスター)

会 場：環境・情報科学館

- 1) 展示用パネルの大きさは横 83 cm×縦 163 cm のパネル 1 枚 (片面) です。なお、左上の 20 cm×20 cm の部分はポスターの発表番号を掲示するスペースとするため、空白として作成してください。
- 2) ポスターは、発表の 1 時間前までに取り付けてください。また、発表後の 17：30 までに取り外してください。
- 3) 発表者は発表時間にポスターの前に待機して説明してください。なお、座長が発表を確認します。

## 4. 総会・授賞式

日 時：3 月 28 日 (木) 13：30～15：00

場 所：大講義室 (生物資源学部校舎 2F)

### 1) 日本作物学会賞 (第 68 回)

限定要因モデルを用いたダイズの子実生産、窒素同化およびリン酸吸収律速要因の解析

垣内仁 (東京農業大学)

タンパク質化学に基づく穀類子実貯蔵物質の品質改善に関する研究

田中朋之 (京都大学)

### 2) 日本作物学会技術賞 (第 14 回)

京都府における丹波黒大豆系エダマメの品種および生産技術の開発と普及

杉本充<sup>1</sup>・山崎むつみ<sup>2</sup>・河合哉<sup>3</sup>・三村裕<sup>4</sup>・古谷規行<sup>5</sup>・山下道弘<sup>5</sup> (<sup>1</sup> 京都府南丹農業改良普及センター、

<sup>2</sup> 京都府庁、<sup>3</sup> 京都府農林水産技術センター丹後農業研究所、<sup>4</sup> 京都府農林水産技術センター農林センター、

<sup>5</sup> 京都府農業会議)

### 3) 日本作物学会研究奨励賞 (第 28 回)

土壌環境の改善を通じた畑作物の安定生産栽培技術の開発

神山拓也 (宇都宮大学)

品種および播種期の違いがダイズの乾物動態と収量形成に及ぼす影響の解析

川崎洋平 (農研機構西日本農業研究センター)

## 5. ミニシンポジウム

### (1) Threat and Technical solutions to Fertilizer Price Surge on Food Security in Africa

日 時：3月29日（金）10：00～12：00

会 場：生物資源学部校舎220講義室（第4会場）

代 表：辻本泰弘（国際農林水産業研究センター・海外交流推進委員会）

講演題目と話題提供者：

1. Food Security and Nutrition in Africa: The Impact of Fertilizer Price Surge

Sakiko Shiratori

(Japan International Research Center for Agricultural Sciences)

2. P localized application as a technical solution to the challenges of phosphorus fertilizer on lowland rice production in sub-Saharan Africa.

Njato Mickaël Rakotoarisoa<sup>\*1,2</sup>, Yasuhiro Tsujimoto<sup>3</sup>, Aung Zaw Oo<sup>3</sup>, Toshiyuki Takai<sup>3</sup>, Toru Tashiro<sup>1</sup>, Mana Kano-Nakata<sup>4</sup>, Yoshiaki Inukai<sup>4</sup>, Hiroshi Ehara<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, Chikusa, Japan, <sup>2</sup>Rice Research Department, National Center of Applied Research on Rural Development (FOFIFA), Antananarivo, Madagascar, <sup>3</sup>Japan International Research Center for Agricultural Sciences, Tsukuba, Japan, <sup>4</sup>International Center for Research and Education in Agriculture, Nagoya University, Japan)

3. Phosphate rock and soil microbial resources-based fertilizer production via composting: a solution to the restore low soil fertility and increase crop production in sub-Saharan Africa

Papa Saliou Sarr

(Crop, Livestock and Environment Division, Japan International Research Center for Agricultural Sciences (JIRCAS), Japan)

4. Symbiotic nitrogen fixation in yams: Aiming for low-fertilizer cultivation in Africa

Kanako Takada<sup>\*1,2</sup>

(Japan International Research Center for Agricultural Sciences, <sup>2</sup>Tokyo University of Agriculture)

5. Mechanization in Tanzania: Impact of Tractorization on Intensification and Extensification of Rice Farming

Eustadius Francis MAGEZI<sup>1</sup>, Yuko NAKANO<sup>2</sup>, and Takeshi SAKURAI<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>Department of Agricultural Economics, Graduate School of Agricultural Science, Tohoku University, <sup>2</sup>Faculty of Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba, <sup>3</sup>Department of Agricultural and Resource Economics, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, University of Tokyo)

### (2) イネにおける高温障害の現状と課題

日 時：3月29日（金）15：45～17：30

会 場：生物資源学部校舎206講義室（第1会場）

代 表：石丸努（農研機構中日本農業研究センター）

講演題目と話題提供者：

1. イネにおける高温障害の現状と課題—緒言—

石丸努（農研機構中日本農業研究センター）

2. 気候変動と近年の猛暑によるイネ高温不稔の定量的評価

吉本真由美\*・戸田悠介・長谷川利拡（農研機構農業環境研究部門）

3. 高知県が抱える高温障害の諸問題

坂田雅正（高知県農業技術センター）

4. 早朝開花性 QTL (*qEMF3*) 導入による高温不稔軽減効果

平林秀介（農研機構作物研究部門）

5. 熱帯地域への早朝開花系統の展開

佐々木和浩（国際農林水産業研究センター）

(3) お手軽♪形態観察法～あなたも3分で観れる植物の微細構造～

日時：3月29日（金）15：45～17：30

会場：生物資源学部校舎211講義室（第2会場）

代表：大井崇生（名古屋大学農学部）

講演題目と話題提供者：

1. 徒手切片法で顕微鏡観察してみよう！

加藤優太（名古屋大学大学院生命農学研究科）

2. 卓上SEMで植物組織を観察してみよう！

大井崇生（名古屋大学農学部）

3. #やってみた 植物形態観察

寶川拓生<sup>1</sup>・大井崇生<sup>2</sup>（<sup>1</sup>国際農林水産研究センター 熱帯・島嶼研究拠点，<sup>2</sup>名古屋大学農学部）

4. Q&A あなたもやってみるために（総合討論）

6. 小集会

日時：3月29日（金）15：45～17：30

若手の会企画による小集会（34）「【コンペ】凄そうな結果（仮）出たのでプロポーザル書いてみる？【賞金なし】」

会場：生物資源学部校舎217講義室（第3会場）

発起人：近藤琳太郎（農研機構東北農業研究センター）・長崎裕一（農研機構北海道農業研究センター）・中  
嶋洸太（京都大学大学院農学研究科）・佐藤稜真（九州大学大学院生物資源環境科学府）・久篠沙耶  
子（東京農工大学大学院連合農学研究科）・横山結衣（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）

内容：本小集会では、若手研究者同士の繋がりを深めることを目的として、コンペ風のグループ対抗ゲームを開催します！参加者それぞれの分野を生かし、ご提示する仮想的な研究データを用いて、限られた時間とコストの中で協力してプロポーザル（研究提案書）を書き上げます。初めにグループ内でミニゲームを楽しみ、お互いをより深く知る機会を設けるため、知り合いが少なく不安という方も心配ありません。もちろんどなたでも大歓迎です。ぜひ交流の輪を広げましょう！（可能であればPCをご持参ください。）

7. 懇親会

日時：3月28日（木）17：30～19：30

会場：共創プラザ1階

8. 講演会参加費

会員区分	参加費（講演要旨集代を含む）	懇親会費
一般	6,000円	6,000円
学生	4,000円	4,000円
非会員	8,000円	6,000円

9. 各種委員会

(1) 講演会企画委員会

日時：3月28日（木）12：12～13：30

場所：生物資源学部校舎232講義室

(2) 出版部

日時：3月28日（木）15：00～

場所：生物資源学部校舎232講義室

(3) 海外交流推進委員会

日時：3月29日（金）12：12～13：00

場所：生物資源学部校舎232講義室

## 会場アクセス

### 1) 津駅から

津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「東豊野」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。(附属病院, 医学部, 工学部へは「大学病院前」下車。) タクシーで約10分

※朝は渋滞のため、もう少し時間がかかることもあります。

### 2) 江戸橋駅から

徒歩で約15分(近鉄電車「特急」は停車しません。バス停やタクシー乗り場がないため、基本的に徒歩で大学へお越しいただくことになります。)



詳細は、講演会 HP「交通案内」または三重大学 HP「本学への交通案内 (<https://www.mie-u.ac.jp/about/overview/access/>)」をご参照ください。時刻表もリンクしています。

会場案内図

一般講演会場（生物資源学部校舎）



灰色範囲への立ち入りはご遠慮ください。

ポスター会場（環境・情報科学館）と懇親会会場（共創プラザ 1 階）



営業時間

第1食堂：11：30～13：30

レストラン「ばせお」：11：30～13：30 売店：11：00～16：00

#### 津市および三重県の観光案内

津市観光協会 HP および三重県観光連盟 HP をご参照ください。講演会 HP (<https://cropsience.jp/meeting/257/>) にも掲載しております。

・津市観光協会 HP (<https://www.tsukanko.jp/>)

津市観光協会 HP パンフレット印刷ページ (<https://www.tsukanko.jp/pamphlet/>)

・三重県観光連盟 HP (<https://www.kankomie.or.jp/>)

三重県観光連盟 HP 「観光スポット」 (<https://www.kankomie.or.jp/spot>)

三重県観光連盟 HP 「グルメ」 (<https://www.kankomie.or.jp/season/gourmet/index>)

## 日本作物学会第 257 回講演会運営委員会

運営委員長：梅崎輝尚（三重大学）

事務局 長：長菅輝義（三重大学）

運営委員：長屋祐一・関谷信人・樋口伸一（三重大学），  
近藤始彦・江原 宏・杉浦大輔・大井崇生・加藤優太（名古屋大学），  
平野達也・近藤 歩・黒川裕介（名城大学），  
松井 勤・大場伸哉（岐阜大学），  
中園 江・渡邊和洋（中日本農研），藤井道彦・山下雅幸（静岡大学）

事務局：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 三重大学生物資源学部内

日本作物学会第 257 回講演会運営委員会

TEL: 059-230-0044

E-mail: [nkiyoshi@bio.mie-u.ac.jp](mailto:nkiyoshi@bio.mie-u.ac.jp)

第 257 回講演会ホームページ：<https://cropsience.jp/meeting/257/>

本誌に掲載された論文などの著作権は、日本作物学会が所有しています。

学会ホームページ：<https://cropsience.jp>